

高校生 ICT 2021 Conference

in 全国オンライン

～テーマ～

「フェイクを見極める」

開催報告書

2021年10月10日(日)13:00-17:00

【会場】：オンライン

主催

高校生ICTカンファレンス実行委員会
(構成団体)

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、法務省、文部科学省、経済産業省

2021年10月12日

目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2021 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2021 in 全国オンライン 開催概要.....	4
4. 主担当.....	8
5. 高校生 ICT Conference 2021 サミット.....	8
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	8
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	9

1. 開催概要

名称：	高校生 ICT Conference 2021 テーマ： 「フェイクを見極める」
主催：	高校生 I C Tカンファレンス実行委員会 (構成団体) ● 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、法務省、文部科学省、経済産業省
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
協賛：	グーグル合同会社、株式会社ラック、株式会社サイバーエージェント、株式会社メディア開発綜研、株式会社ディー・エヌ・エー、Bytedance 株式会社、Twitter Japan 株式会社、グリー株式会社、アルプス システム インテグレーション株式会社、エースチャイルド株式会社、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会
協力：	WeWork Japan 合同会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2020 年度には、全国 15 拠点にて開催し、計 86 校 360 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>【本年開催テーマのコンセプト】</p> <p>ネットの無い世界は考えられなくなっている反面、ネット上には真偽を問わず情報が溢れています。災害など非常時に人の善意に付け込んだフェイク情報は、愉快犯に留まらず、恐怖心をあおり、例えば買い占めを誘引したり、人格を変質させ根拠の無いいじめにつながったりしています。</p>

	<p>さらに、最近では、フェイクの域を超え、実在の企業になりすました巧妙な、なりすましメールや偽のHPへの誘導による犯罪も常態化しています。</p> <p>2022年に施行される成年年齢引下げに向けて高校生の早い時期からネットの特性を理解したうえで、フェイクを見極め、事故や犯罪に巻き込まれることなく、ICTを活用するにはどうすれば良いのかを、利用実態を踏まえ、議論する。</p> <p>※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地	募集参加生徒 30名（各開催地により変動あり）
募集人員等：	募集見学者各回 30名（各開催地により変動あり）
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2018 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT研究会理事・消費者団体訴訟室長） ・ 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） ・ 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） ・ 小城 英子（聖心女子大学） ・ 他、関係者団体、事業者等

	【事務局】 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 高校生 ICT Conference 2021 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
北海道	9月12日	オンライン
茨城	10月22日	オンライン
東京	10月2日	オンライン
神奈川	9月4日	オンライン
新潟	8月19日	オンライン
石川	10月3日	オンライン
長野	10月9日	オンライン
静岡	9月19日	オンライン
大阪	9月12日	オンライン
奈良	10月3日	オンライン
高知	8月19日	オーテピア
佐賀	10月23日	オンライン
長崎	8月21日	オンライン
大分	8月22日	オンライン
全国オンライン	10月10日	オンライン
サミット	11月3日	東京 内田洋行 CANVAS
最終報告会	未定	

3. 高校生 ICT Conference 2021 in 全国オンライン 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 47 名の参加者を得て、Zoom を使ったオンライン形式で、「フェイクを見極める」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【オンライン熟議】 司会進行・主旨説明 実行委員長 米田謙三 様 高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明していただきました。特に今年初めてのオンライン開催ということになったのでオンラインならではのポイントや主旨なども説明してもらいました。</p> <p>開会の挨拶 総務省情報流通行政局 情報流通振興課情報活用支援室 課長補佐 熊原 渉 様 総務省の業務内容をご紹介いただきました。また高校生 ICT Conference の意義やこれまでの地域の様子などをご説明いただきました。総務省としても楽しみにしているという期待のメッセージもいただきました。</p>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第一部 事業者による講演

グリー株式会社 法務総務部 政策企画グループ 牛腸 綾香 様

ネット事業を中心に自社の事業を説明いただいた後、今日のテーマであるネット上のフェイクについて事例をあげ、見極めるヒントを示しながら気をつけるべき点を説明いただきました。そのうえで、“嘘にだまされない人は、だまされるかもしれないと思える人”というキーワードをあげお話をいただきました。

ファシリテーター・参加校紹介 および グループ分け

4つのグループのブレイクアウトルームにわかれてから、それぞれのグループのファシリテーターを務める大学生から本日の目標、アイスブレイク、自己紹介などを実施しました。

第二部：熟議「フェイクを見極める」

ブレイクアウトルームで4つのグループに分かれ大阪の大学生がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。まずは「学業の視点から」次に「コミュニケーション能力の視点から」ということを中心に Google スライドを活用しながら意見を整理分類しまとめて行きました。具体的な使い方については、テーマにしばった班や少し大きなテーマで取り組んだ班などいろいろとありました。熟議の中で分からない事は、企業の方や先生方にも随時サポーターとして入っていただき、すばやく答えてくださいました。今回、ファシリテーターは大学生でしたが、事前にオンラインでのフォームやまとめ方を打ち合わせして、滞りなくまとめることができました。(研修を今年も4回ほどファシリテーターのみで実施しました)

今回の全国オンラインの熟議の大切にしたいポイント

- 1、ネットとフェイクの関係 (例)「にせもの、模造品、まやかし、インチキ」
- 2、なぜフェイクは生まれるのか
- 3、フェイクとネットの親和性
- 4、騙されないためにはどうすれば良いか
- 5、有用なものを見逃さないために
- 6、より安心して活用できるネット社会のために

(詳細は別紙「熟議録」をご参照ください)

第三部：グループ発表

各グループともプレゼンテーションソフト (Google スライド) を活用して3分の発表を行いました。(詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください)

今年もオンラインでしたがどのグループもその分内容が充実していてスライドとしてよくまとまった発表となりました。すぐにできる提言もたくさんありました。また全国各地からということで地域交流の場にもなったようでした。

参考：各班のポイント 班が代表グループに選ばれました。

【1班】

1, なぜフェイクは生まれるのか

他人を陥れるために 面白半分で、広める 承認欲求 商業目的

2, フェイクとネットの親和性

匿名 リスクがなく 誰が投稿しているのかが特定できない SNS の発達で
拡散しやすい

3, 騙されないためにはどうすれば良いか

情報を信じず程々に。 他の情報と照らし合わせて根拠があるか。

情報の発信源を確認する。 情報が伝わるまでの経緯を調べる。

4, 有用なものを見逃さないために

信用できる発信源を選択する ・公式の発表した正確な情報を頼りにする
根拠のない情報でも「本当かもしれない」と頭に留めておく

5, 安心して活用できるネット社会へ

- ①利用者の意識 自分がされて嫌なことはしない 情報の中に嘘が混じっている
- ②教育の徹底 学校でも家庭でもネットリテラシーを教育
- ③規制の強化 サイバーセキュリティを強化 運営者によるパトロールの実施

【2班】 フェイクを出させないアプリ

フェイクの例→具体的対策

リソースの徹底 虚偽情報の措置

アプリ対応 **ここさすネット**

自分のいる地域の写真を地図と合わせて投稿

→リアルタイムで状況が分かる！

提言ポイント

認証 情報源

【3班】 フェイクの特徴と対策

実例 1 広める 2 立場や価値観による情報の違い

3 大々的なメディアの信憑性 4 誤情報と偽情報の境目

個人の心構え

情報源の確認 疑いの目 様々なサイトとの比較

提言 「教育」と 「メディア」

人との価値観の違いを考える授業 偽サイトで騙される擬似体験

誤情報だとわかった時の訂正を義務化する法律を制定

得た情報についての議論を記録

【4班】 フェイクに踊らされない！意識の改革

悪意あるフェイク と 勘違いに基づくフェイク

- 1、ネット上には多くのフェイク（嘘）があふれていることを理解する。
- 2、学校での情報教育強化、講演会や注意喚起の全国的普及。

	<p>提言</p> <ul style="list-style-type: none"> • SNS の広告に注意喚起 • 講演会の数を増やす。 • 情報教育の拡大（疑似体験） You Tube の広告 <p>講評：大阪私学教育情報化研究会 副会長 米田謙三 様</p> <p>全国各地からのオンライン開催でしたが、大学生のファシリテーターのもと本当にいろいろな意見がここまで出てきて大変良かったと思います。また地域の交流もできたようで大変盛り上がりました。また 今回話し合った事を、学校に戻っても話しあってほしいですし、可能ならまだ開催されていない地域は地域開催も視野に入れて協力してほしいと思います。最後に引用「だまされない人は だまされるかもしれない と思える人。自分なりの尺度を多く持とう」をレポートし未来を創る担い手にエールを送って終わりました。</p> <p>その後、参加生徒により、11月3日に開催される東京サミットに行くグループの選定投票を行い、またそのグループで代表者の選定投票を行い が代表校に選出され、全体会で発表されました。</p> <p>その後、ブレイクアウトで各班オンラインで少し懇親会を実施しました。</p>
参加校：	<p>福岡県立玄界高等学校 福井県立敦賀高等学校 文京学院大学女子高等学校 鎌倉女学院高等学校 京都府立京都すばる高等学校 鹿児島情報高等学校</p> <p style="text-align: right;">(順不同)</p>
日 時：	2021年10月10日（日）13:00-17:00
場 所：	オンライン
参加人数：	<p>熟議参加生徒 20人 見学者・関係者 27人（教員・教育関係者・その他） 合計： 47人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【グループ名：1】5名 福岡県立玄界高等学校2年男子、福岡県立玄界高等学校2年男子、鹿児島情報高等学校1年男子、鎌倉女学院高等学校2年女子、文京学院大学女子高等学校1年女子 〔ファシリテーター〕 大阪産業大学 本田 麻依</p> <p>【グループ名：2】5名 福岡県立玄界高等学校2年男子、鹿児島情報高等学校1年女子、福井県立敦賀高等学校1年女子、文京学院大学女子高等学校1年女子、京都府立京都すばる高等学校2年男子</p>

	<p>〔ファシリテーター〕 大阪済生会中津看護専門学校 林 希</p> <p>【グループ名：3】5名 福岡県立玄界高等学校2年男子、鹿児島情報高等学校2年女子、文京学院大学女子 高等学校1年女子、文京学院大学女子高等学校1年女子、京都府立京都すばる高等 学校2年男子</p> <p>〔ファシリテーター〕 東北大学 川和ニコラ</p> <p>【グループ名：4】5名 福岡県立玄界高等学校2年男子、鹿児島情報高等学校2年女子、文京学院大学女子 高等学校1年女子、京都府立京都すばる高等学校1年男子、鎌倉女学院高等学校2 年女子</p> <p>〔ファシリテーター〕 上智大学 矢野莉央</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 主担当

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会	事務局
大阪私学教育情報化研究会 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動	会場、什器備品手配、庶務
各団体、事業者等	講演

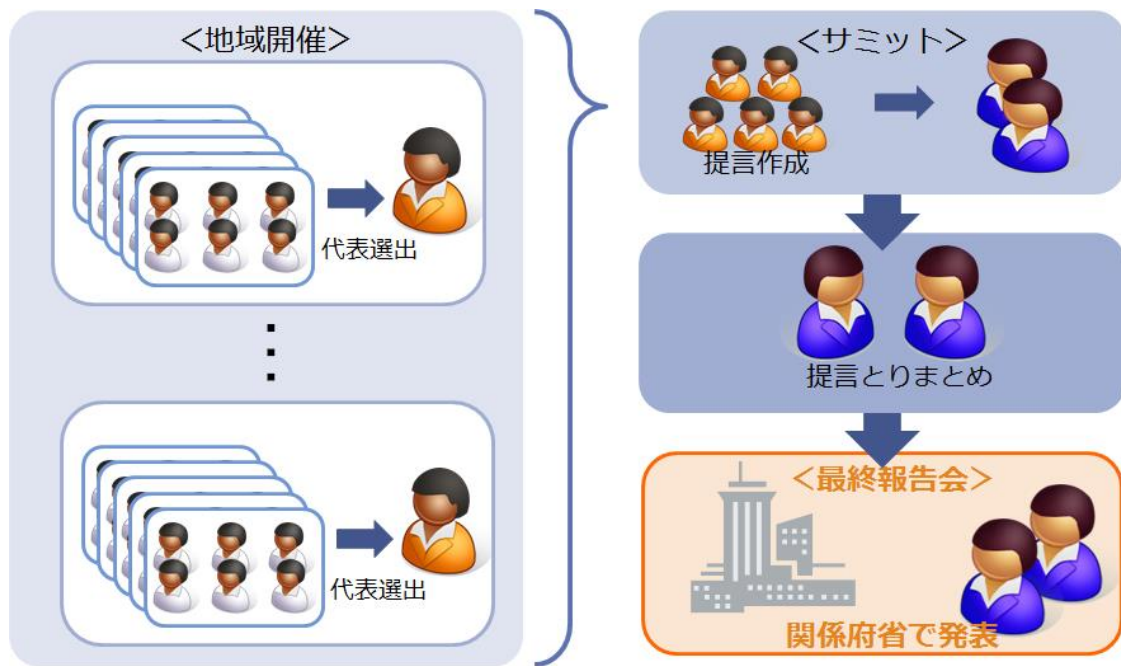
5. 高校生 ICT Conference 2021 サミット

高校生 ICT Conference 2021 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2021 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏る。



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2021 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2021 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上